

2025年6月30日

令和7年度 関東スポーツ推進委員研究大会 in 山梨大会

大会テーマ『**スポーツと文化の融合**』～地域を繋ぎ 地域を生かし 地域を元気に～

林 但

6月27日、28日に表記は、1都8県が輪番制で山梨県甲府市他で開催されました。大会は今までにない、時間が6時間(1日目)に及び挨拶などが多くしばしば本論部分の内容が短縮される場面もありました。スポーツ推進委員・事務局など関係者1846名、来賓130余名、アトラクション他参加の方約70名。大会の概要と気づいたこと・学んだこと等を以下に記載致します。

1日目：【実技披露】今までにない、11:30～**北杜市スポーツ推進委員**67名の中から**40名**。スコップ三味線演奏・必殺仕置き人の音楽に合わせ会長が、武田信玄に扮して登場、会長の行動紹介他。

【挨拶・開会式・表彰式】12:00～14:11 時間オーバー、長かった。**横須賀市は金森氏が受賞。**

【基調講演・パネルディスカッション】14:20～16:37 演題：「天災を天恵に変えた長所、進展の教育」日本航空学園理事長・梅澤重雄氏と「健やかな子供を育む」山梨大学学長・中村和彦氏であった。また、パネルディスカッションは全国のリーダー養成講習会に参加された方10名が委員になったきっかけと現状の取り組み紹介。パネルディスカッションではなく残念。時間オーバー。唯一以前にも何回か話を伺った中村学長の「**生きる力**」**思考力・判断力、コミュニケーション能力、体力が大事**という部分が印象に残る。

【アトラクション】16:40～17:30? 3つに分かれ、**日本航空高等学校の吹奏楽・ダンスは見応えがあった。**神奈川県表彰者祝賀会があり、自転車トライアル、日本航空高等学校の太鼓隊は見る事ができなかった。

【神奈川県祝賀会】受賞者が23名を山梨県庁近くで開催、参加者が100名以上で、入れる会場がなく全体で表彰者の紹介と一言ずつ挨拶を頂いた、その後は4階と3階に分かれ意見交換や情報提供等を5～6人単位で行った。

2日目、エスニック・ツーリズム～現地の文化を学ぶ、座学または実技研修ということで6つの分科会に分かれて行った。**横須賀市は第二分科会：会場(甲州市：勝沼ぶどうの丘イベントホール)「世界農業遺産をどうスポーツリズムにつなげるか」について座学研修**を行った。峡東三市の世界農業遺産を利用したスポーツイベントの紹介や今後の課題他、ソムリエによるワインの特徴や飲み方の紹介を頂くことになっていたが、時間の関係で大幅に短縮。一つだけ強く印象に残ったのは、農業遺産推進協議会中村氏の講演の中で、出てきた「**ロゲイニング**」という言葉である。

ロゲイニングとは、地図とコンパスを使い、制限時間内にチェックポイントをできるだけ多く回り、得点を競うスポーツ。この地区の場合は、果実の里をめぐる。スポーツ×ツーリズム、地域文化との触れ合い、エコツーリズムの要素がキーワードと考えた。これって会社勤務時代にやっていたものに近いか、少し調査研究をしてみたい。

全体を通して、感じたことは

(1) 良い内容はあるが、あまりにも盛沢山。消化しきれないのではないだろうか？

→分科会の観光とスポーツに的を当てたことよい、これからもこの手法が多くなるのではないか？

→林の視点で印象に残る3点は、**分科会の進め方と「ロゲイニング」、中村学長の講演、日本航空高校の生徒さんの部分**である。

(2) とにかく両日とも挨拶他が多い、来られた市町村多くが挨拶で話も長い？

(3) 翌日山梨県のことを検索したら、大々的に関東大会のことが報道されていた。

(4) 両日を通じて山梨の方の熱意は感じた。

(5) 私も全国リーダー養成講習会に参加しており、彼・彼女らの気持ちと通ずるところは多い。

(6) あいさつの中で印象に残るものを挙げると、

- ・芸人になれ(自分の特徴、強みを生かせ)
- ・スポーツの肝は研修を続けること ……自分も同感
- ・情報を集め、市町にあったものを行え
- ・地域の特性を生かせ！

(7) 横須賀市は文化・スポーツ・観光が一つの部であり、事務局の人がどう感じ、新たな気づきを得て業務に生かしていただけるものと期待している。

写真で紹介



北杜市 スコップ三味線



表彰: 神奈川県の方
中央は神奈川県・山梨県会長



日本航空高校吹奏楽部・ダンス部



神奈川県祝賀会表彰あいさつ



お祝いの太鼓演奏
勝沼ぶどうの丘



世界農業遺産紹介と講師(右端)